

平成27年度第1回学術情報基盤オープンフォーラム  
2015年6月12日（金）  
Contents Session コンテンツWG報告&情報交換

# 博士論文インターネット公表の実態（調査報告）

---

機関リポジトリ推進委員会ワーキンググループ  
コンテンツWG 博論班（H26年度）

# もくじ

- 本日の報告内容
- 背景：博士論文のインターネット公表化
- 問題意識
- 調査①IRDBデータ調査
- 調査②アンケート調査
- まとめ

# 本日の報告内容

- H26年11月～H27年3月実施  
博論インターネット公表に関する調査結果

報告書

**「博士論文のインターネット公表化に関する現況と課題（報告）」**

平成27年3月 機関リポジトリ推進委員会コンテンツワーキンググループ

<http://id.nii.ac.jp/1280/00000131/>

# 背景：博士論文のインターネット公表化

	内容の要旨 審査の結果の要旨	博士論文全文	
		原則	やむを得ない事由があるとき
平成25年 3月以前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月以内に</li> <li>・公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年以内に</li> <li>・印刷公表 = 国立国会図書館 (NDL) への納本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年以内に</li> <li>・要約を印刷公表</li> <li>・全文は閲覧提供</li> </ul>
平成25年 4月以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月以内に</li> <li>・インターネット公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年以内に</li> <li>・インターネット公表 = 各大学のリポジトリで 公表 (リポジトリがない 場合はHP等で公開・ NDLに送信)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年以内に</li> <li>・<b>要約</b>をインターネット 公表</li> <li>・全文は閲覧提供</li> </ul>

# 背景：博士論文のインターネット公表化

	<b>内容の要旨 審査の結果の要旨</b>	<b>博士論文全文</b>	
		原則	やむを得ない事由があるとき
平成25年 3月以前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月以内に公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年以内に印刷公表 = 国立国会図書館 (NDL) への納本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年以内に要約を印刷公表</li> <li>・全文は閲覧提供</li> </ul>
平成25年 4月以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月以内にインターネット公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年以内にインターネット公表 = 各大学のリポジトリで公表 (リポジトリがない場合はHP等で公開・NDLに送信)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年以内に<b>要約</b>をインターネット公表</li> <li>・全文は閲覧提供</li> </ul>

## 問題意識

- **インターネット公表は進んだか？**  
→ 調査①IRDBデータ分析
- **各大学では何に苦勞しているか？**  
→ 調査②WGメンバー機関の状況把握

## 問題意識

- **インターネット公表は進んだか？**  
→ 調査①IRDBデータ分析
- **各大学では何に苦勞しているか？**  
→ 調査②WGメンバー機関の状況把握

# 調査① IRDBデータ分析

- 目的

H25年度授与の博論の機関リポジトリへの登録状況を明らかにする

- 方法

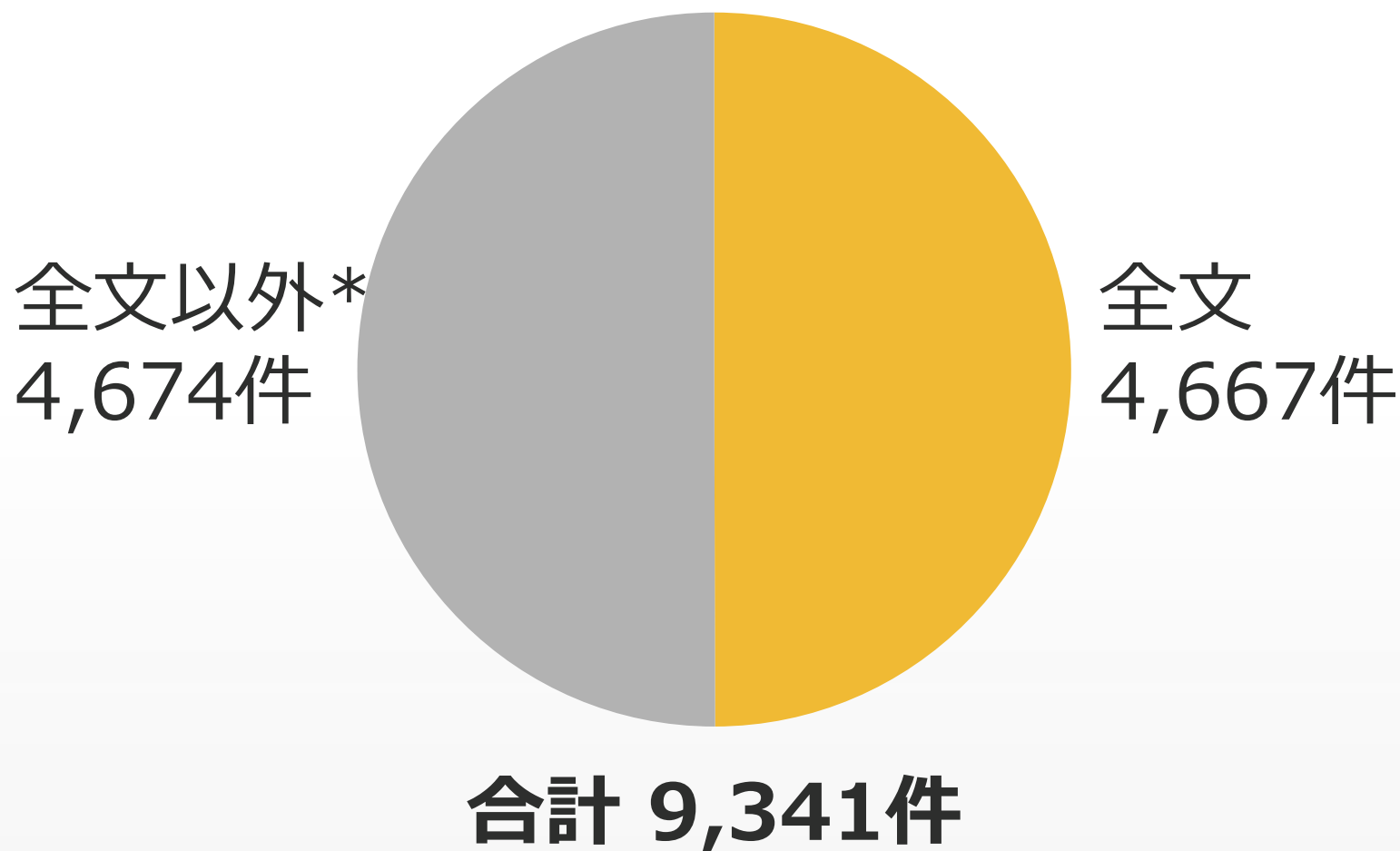
IRDB\*のデータから、H25年度授与の博論データの件数を調べる

- 抽出日：**H26.11.3**
- 抽出条件：item\_niitype = Thesis or Dissertation
- 抽出結果件数：130,887件



# 調査①結果 H25博論の公表件数

\*ただし、H26.11出力のIRDBデータにおいて



\*全文以外は、要旨・要約・二次情報のみを含む

# 調査①結果

## H25博論の公表率

\*ただし、H26.11出力のIRDBデータにおいて

1年度平均学位授与件数\* = **16,738件**とすると

- **全文公表率：約28%**
- **全文以外を含む公表率：約56%**

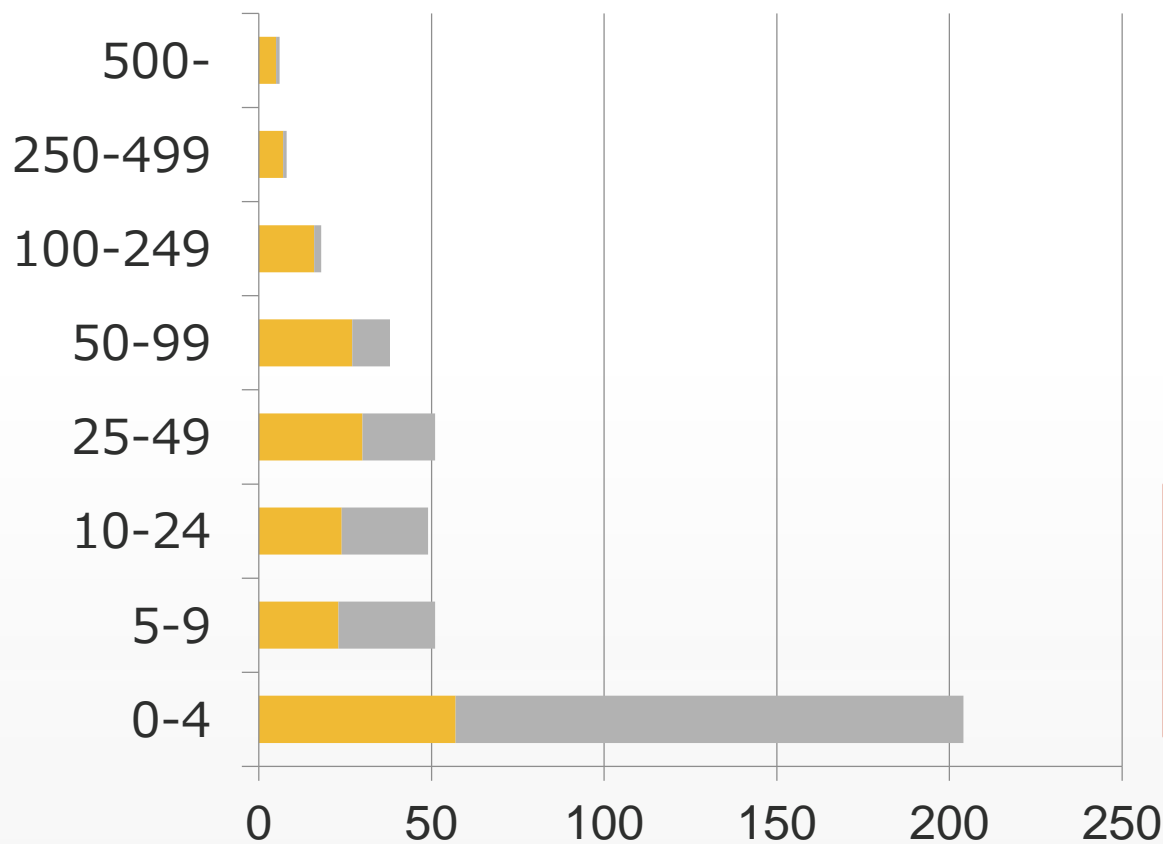
\*文部科学省公開による、学位授与件数5年分の平均(平均は執筆者算出)

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/daigakuin/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakuin/index.htm)

# 調査①結果

## IRで公表済み大学数 / 未公表大学数 \* H26.11時点

平成21～23年度  
平均学位授与件数



■ IRで公表  
■ IRで公表なし

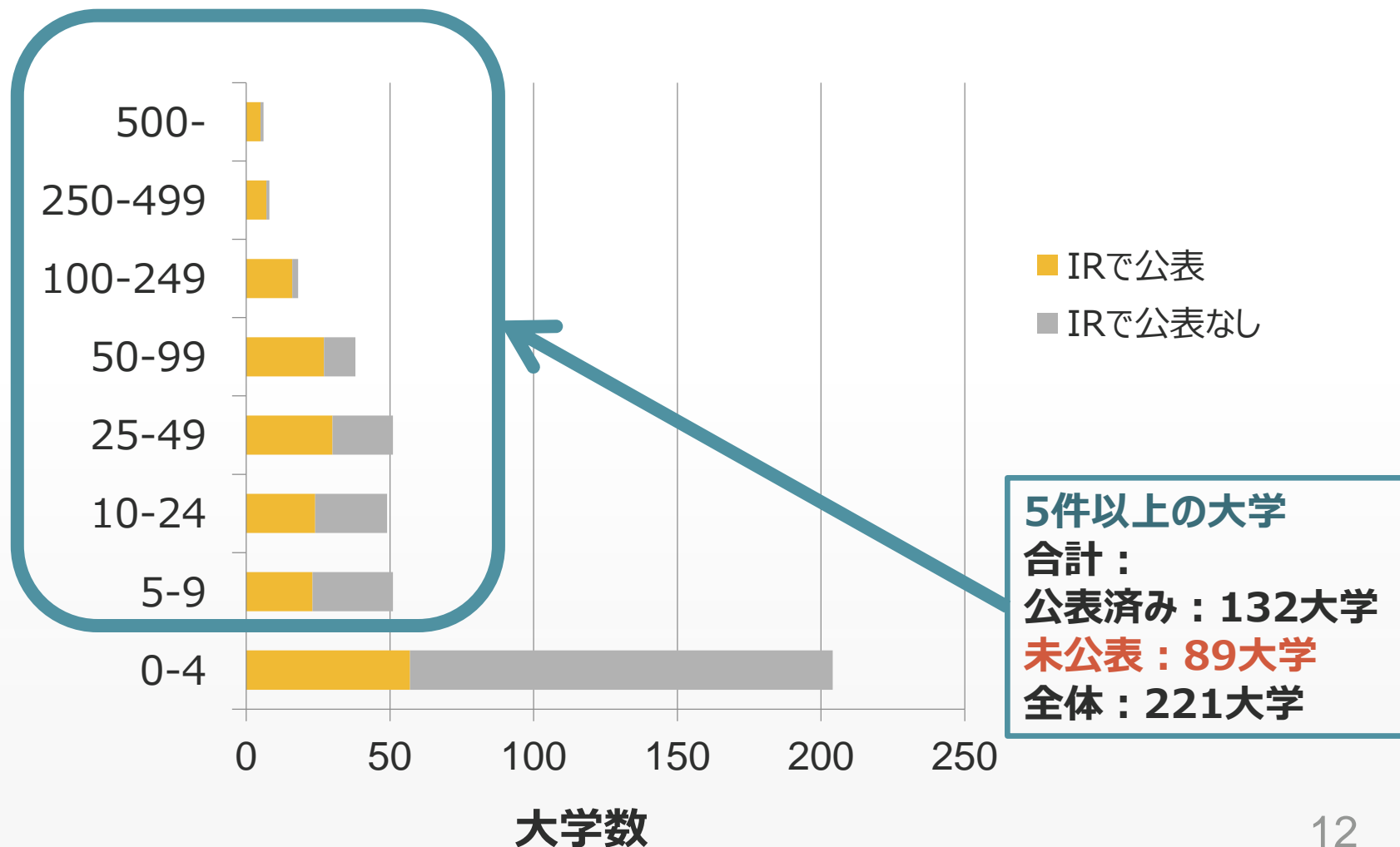
合計：  
公表済み：189大学  
未公表：236大学  
全体：425大学

大学数

# 調査①結果

## IRで公表済み大学数 / 未公表大学数 \* H26.11時点

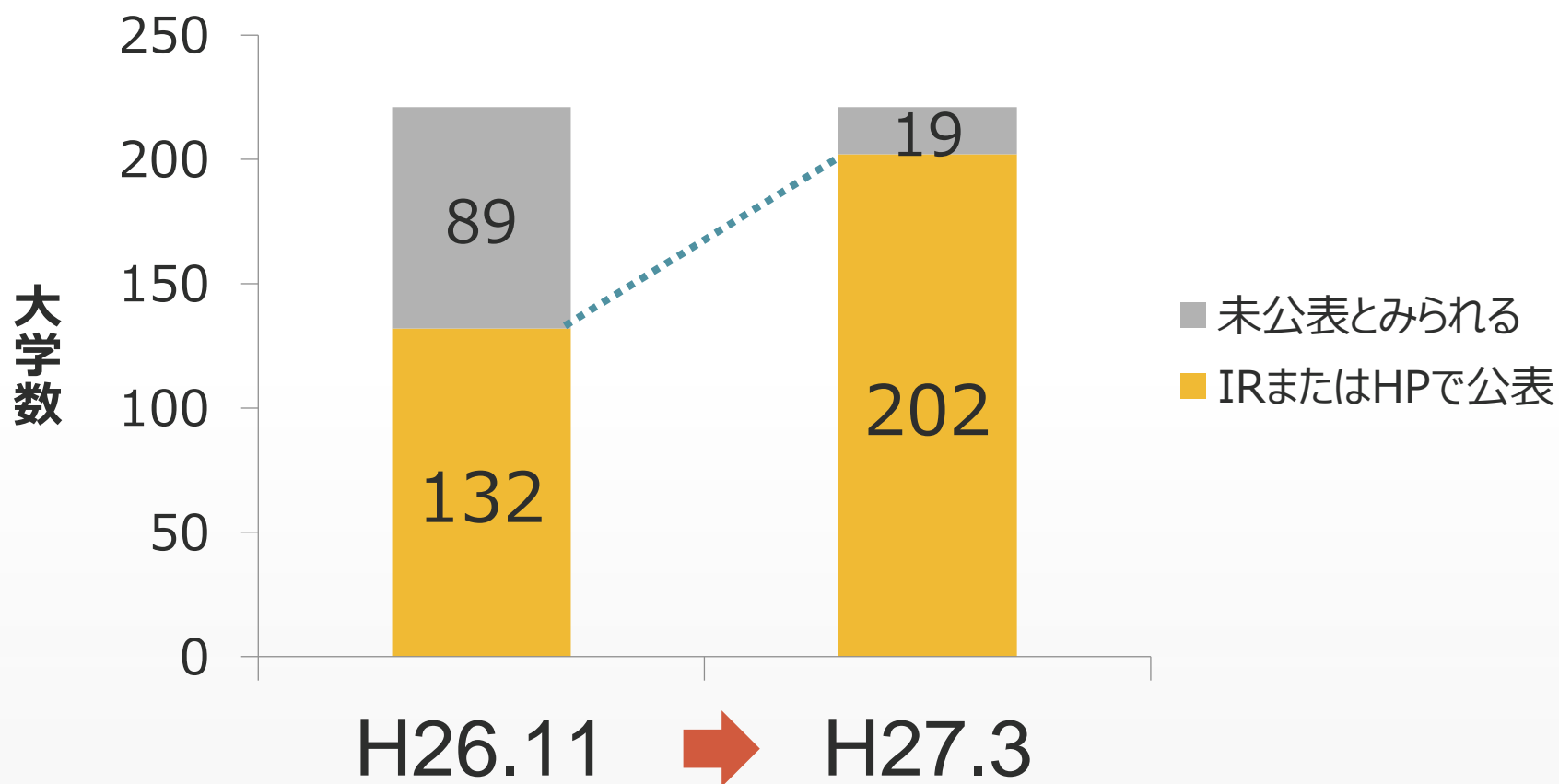
平成21～23年度  
平均学位授与件数



# 調査①結果

## IRで公表済み大学数／未公表大学数

平均学位授与件数5件以上の公表大学数推移



## 調査①まとめ

- 学位授与件数の平均に占める、博士論文公表率  
(ただし平成26年11月時点のIRDBデータ)
  - 全文公表率：約28%
  - 全文以外を含む公表率：約56%
- 未公表大学数
  - 平成26年11月→平成27年3月で激減

## 調査① 限界と課題

- 要旨 / 要約 / 全文
  - 原則としては…
    - 要旨 = 3ヶ月以内に100%
    - 要約 + 全文 = 1年以内に100%
- 学位授与件数の把握
- 機関リポジトリ非構築大学の公表状況

## 問題意識

- インターネット公表は進んだか？  
→ 調査①IRDBデータ分析
- 各大学では何に苦勞しているか？  
→ 調査②WGメンバー機関の状況把握



## 調査②

# WGメンバー機関へのアンケート

- 目的

各大学の実務上の課題や取り組み状況を把握し  
共通点を探り、互いに参考にしたい

- 対象大学

WG参加機関：25大学（全て機関リポジトリ構築済み）

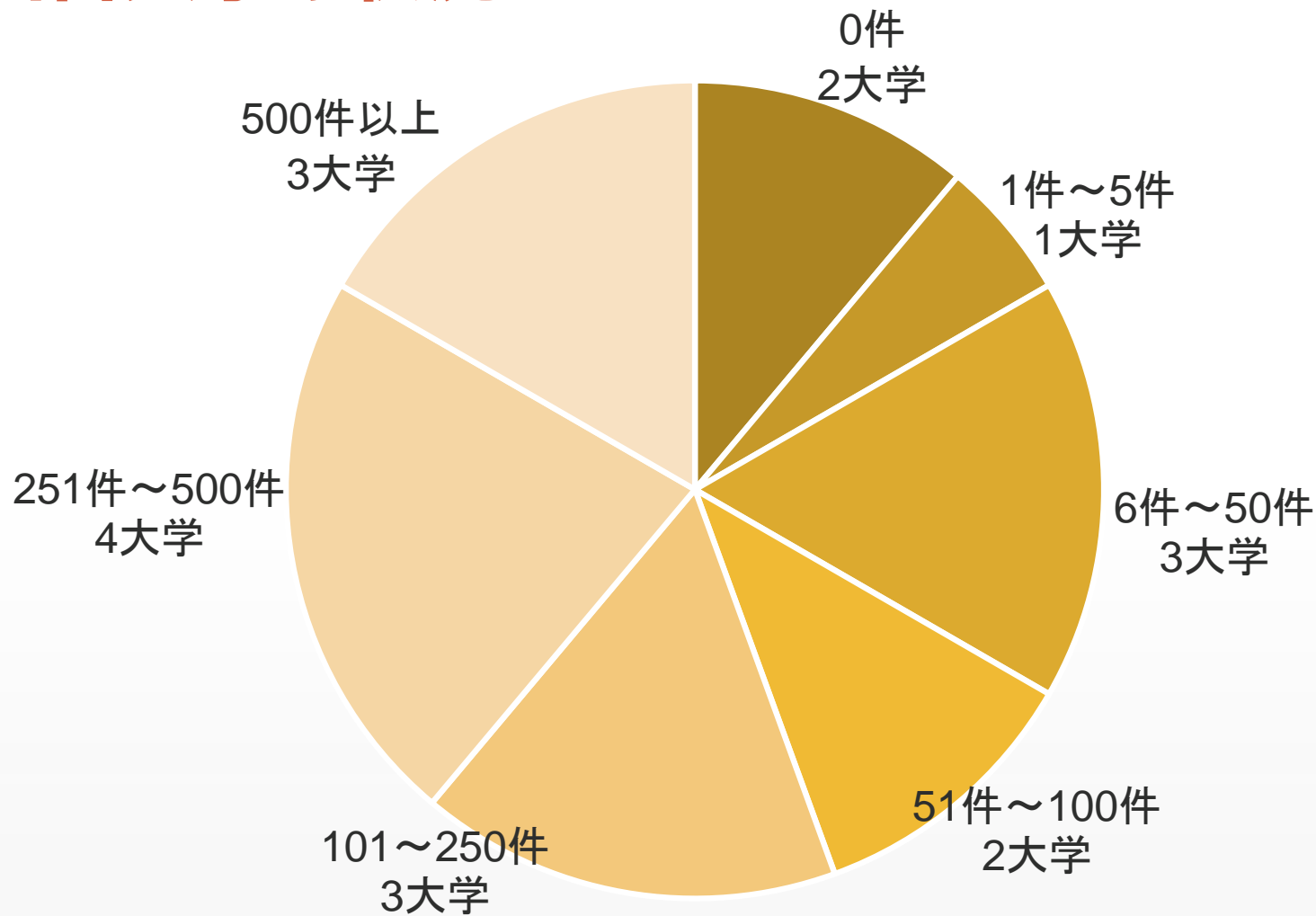
- 回答大学

18大学（国立12、私立6）

- 実施期間

2015年2月26日～3月25日

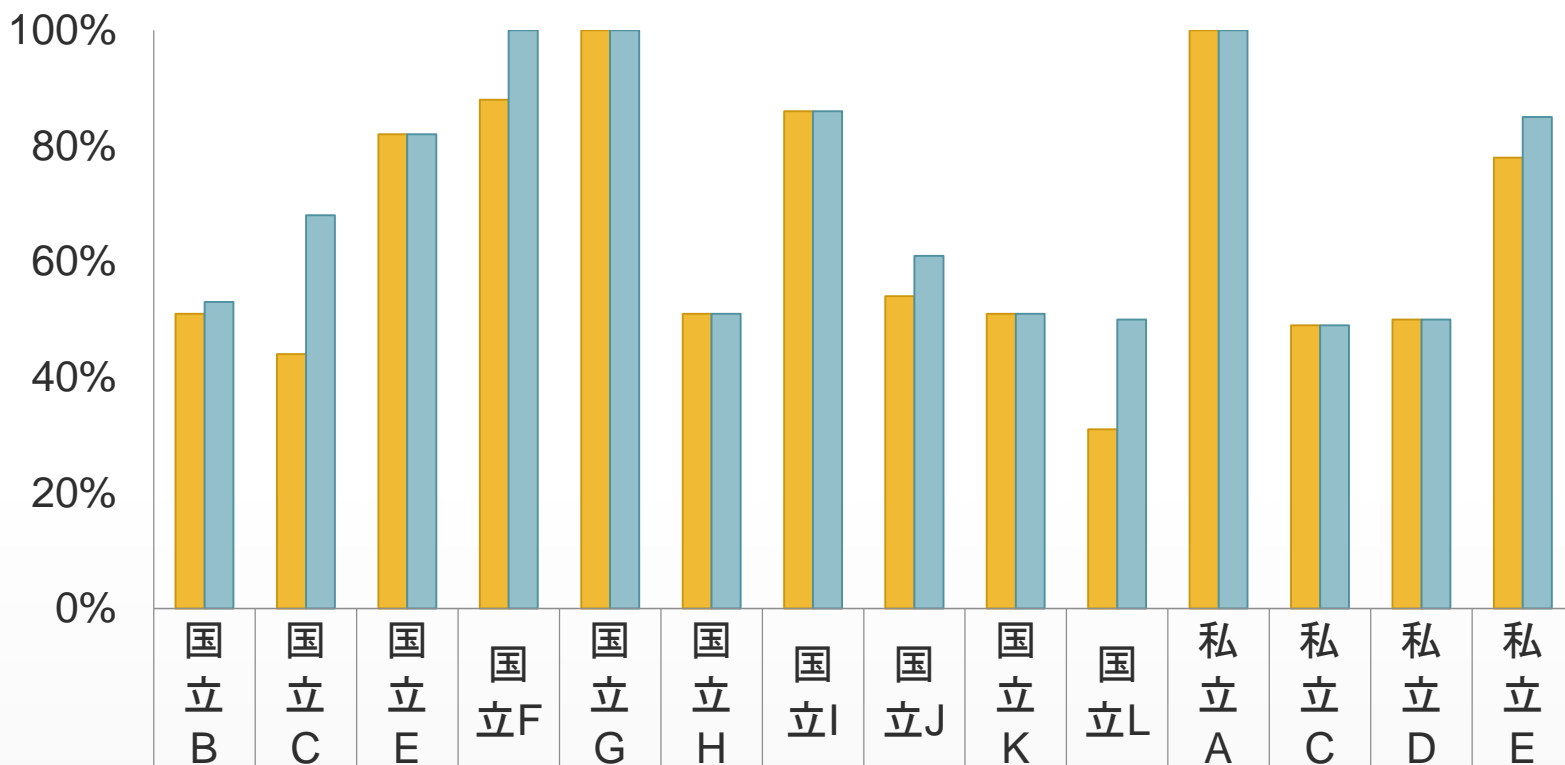
## 調査② 回答大学の状況



平成25年度学位授与件数別大学数

## 調査②

# 回答大学のH25年度博論公表状況\*

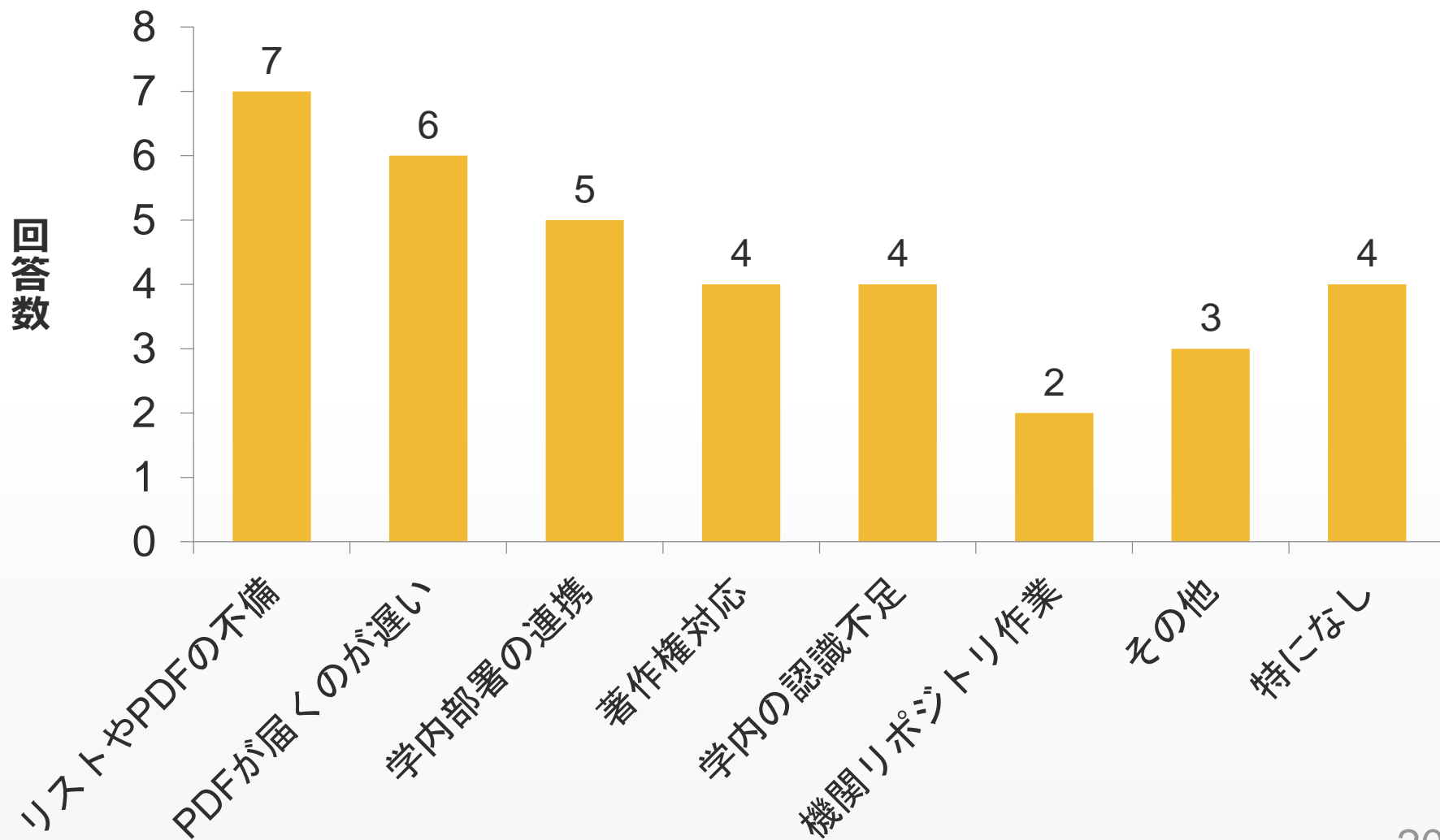


■ 全文公表率 (学位授与件数中)	51%	44%	82%	88%	100	51%	86%	54%	51%	31%	100	49%	50%	78%
■ 全文公表率 (機関リポジトリ登録件数中)	53%	68%	82%	100%	100%	51%	86%	61%	51%	50%	100%	49%	50%	85%

\*アンケート回答時の状況

## 調査②

### 博論公表上、苦勞している点 (複数回答可)



## 調査②

### 課題への対処方法とその効果 1

- リストやPDFの不備
  - PDF作成に関する執筆者向け説明書の配布
  - ? 学生・部局担当者・本部教務に再周知
  - ? フォーマットの改善
- PDFが届くのが遅い
  - ? 適宜督促

## 調査②

### 課題への対処方法とその効果 2

- 学内部署の連携 & 機関リポジトリ作業
  - ? 関係部局とマニュアル整備
- 著作権対応 & 学内の認識不足
  - フォーマットの改善
  - 教員・本部学務・図書館・リポジトリ担当でガイドラインを策定
  - ガイドを作成し、博士論文提出者に配布 & リポジトリで公開
  - ? 本部教務等を通じての周知

## 調査②

# その他、工夫している点

- リポジトリの工夫
  - 本文、要旨、要約のファイルを同一ページで公開。  
それぞれ判別できるように記述を工夫
  - PDFファイルごとに公開猶予期限を設定できるようにシステムを改修
- その他のシステムの工夫
  - 一部データの受け渡しをCDではなくサーバ上で
  - 博士論文一覧ページの作成
- 学内での工夫
  - 博論提出者が受講必須の講習会で説明
  - 学内での役割分担の明確化

# まとめ

- H25博論の機関リポジトリにおける全文公表率は約50%（H26.11時点）
- 機関リポジトリ構築済み大学では、機関リポジトリを通じた公表が順次進んでいる
- 機関リポジトリ非構築大学についての網羅的な調査はできていない
- 博論公表に際しては、各大学共通の課題があり、対処法を模索している状況



# 今後に向けて

- 今後も公表の実態を把握し、公表促進につながれるとよい
- 各大学の課題を共有し、互いの取り組みを参考にできるように、情報交換の場があるとよい